

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

2016(28)年 週 報

11月27日

「霊に従って歩むもの」

第4聖日

第3483号

聖
言

それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、律法の要求が全うされるためなのです。肉に従う者は肉的なことをもつぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。ローマ8：4，5

主の弟子となる²⁰

第三課 基本原則 鍵となる引用を読んで考えましょう
トッドはデイダケの中の七つの重要な命題をあげて
います。

七、注意深くあるように、また、義務を果たすように勧められて
いる。「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔がほえたけるししののように、食
い尽くすべきものを捜し認めながら歩き回っています」
(「ペテロ五ノ八、参照六ノ一〇〜一八」)。

キリストも使徒たちも初代教会の指導者たちも、クリ
スチャンの生活の仕方について教え、クリスチャンの規
範と考えました。デイダケを、現実離れた理想ではな
く、普通の人々が実際にできるものと見たのです。回心
するということは、振る舞いを一新するという意味です。
つまり、「そのことによって、神の子と悪魔の子どもと
の区別がはっきりします。義を行なわない者はだれも、
神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそう
です。」(「ヨハネ三ノ一〇」)。「あなたがたは、実
によって彼らを見分けることができます。」(「マタイ
七ノ二〇」)。

(CIBTE主の弟子)

祈りのお願い

教会の後継者、神学生があたえられるように
一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年一月二〇日午前一〇時 礼拝 山本 稔牧師

「神の武具」

「ですから、邪悪な日に際して對抗できるように、また、いっさいを成し遂げて堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。」(エペソ六ノ一二)

武具について(一四〜一七節)

戦いのための武装には、防御用の防護具と攻撃のための武器とがあります。どちらかが一方でも足りなければ勝つ事はできません。悪霊に対する霊的な戦いでも、すべての武具を備えることで立ち向かうことができ、通れずに打ち負かすことができます。まるで兵士たちが出陣する前に一つ一つ確認するかののように各武装について説明することで、出陣命令を前にしたような緊迫した状態に私たちがいることを暗示しているようである。

勝利のための武具と武器は攻撃と防御の各部分がすべてしっかりととのえられていなければならない。

強い敵である悪魔に立ち向かうためには、一対一の対決のような武装が必要である。そうすれば勝利は聖徒のものである。新しい人となったということは、義と真理によって新しく造られたということであり、聖徒は神の助けによって真実を語り、悪魔に剣を与えないでいることができる。信仰によって一つになって悪魔に立ち向かい、神の国を広げることができる。救いに対する確信に立ち、御言葉に従って行うなら、聖霊の働きによって勝利できる。また、本書全体から本文を見ると、一兵士に対してというより、一軍隊として、神が私たち全体を召しておられることがわかる。信仰が弱くなり、教会が倒れるのは、小さなほころびから始まるものである。それは戦いにおいても同様である。当時の戦いにおいて、城門や城壁をやぶれるかが双方において譲れない戦いであったことからわかる。真理のみことばにたえず異端や偽りの教えが入り込む事は、それらの攻撃を赦す様なものである。救いの

確信がなければ、一撃が致命傷になる。平和の福音がなくては、敵がきてもまともに戦うことができない。どんなに多くの矢が飛んで来ても、堅い信仰の盾がるならそれを弾き飛ばすことができる。それらの武装をしていられるように、互いに励まし合おう。

二〇一六年一月二三日午後六時半 祈禱会 山本稔牧師

「神に立ち返れ」

「わたしはイスラエルを、荒れ野のぶどうのように見、あなたがたの先祖を、いちじくの木の初なる実のように見ていた。ところが彼らはバアル・ベオルへ行き、恥ずべきものに身をゆだね、彼らの愛している者と同じように、彼ら自身、忌むべきものとなった。」(ホセア九ノ一〇)

一、神を裏切った結果(10: 11)

民を選ばれた神の愛を、ホセアは生き生きと描写する。喉が渇いた荒野でなく、甘くて美味しいぶどうを見つけたという情景から、神の愛がよく伝わってくる。しかしイスラエルは、その神の愛を受け入れず、みことばにも従わず、偶像と姦淫した。偶像を慕ったイスラエルは、偶像のように卑劣な民に転落してしまつた。民は神の愛を軽視したのである。民に対する神の愛が大きいため、偶像礼拝という裏切りは大きな罪となつた。

二、恵みのろいに(12: 14)

実には他の実を生み出す種がある。神との約束にとどまるイスラエルに民は、そのような恵みの祝福を受けていた。しかし、神を遠ざけて偶像礼拝に走つたことで、イスラエルにはのろいが与えられることになる。子どもが死んで連れて行かれ、懐にその子どもを抱くことができないうろいを受ける。神の守りを受け取らなかつたので、異邦の侵略を受け、全イスラエルは非常に厳しいむごい敵にさらされることになる。

三、偶像礼拝の結果(15: 1)

イスラエルがカナンの地に戻って来たのは、一方的な神の恵み

だった。しかし民は、かえって卑劣なことを神に行い、神の前に罪を犯した。みことばを聞かないのでろいが臨み、不従順だったので神に捨てられる。神の守りの中にとどまろうとしなかったイスラエルは、故国を離れさまよう捕囚生活をする事になる。受けていたすべての恵みが神から与えられていたことを、民はおもいかえそうともせず、神を離れた代価を払うことになる。ギルガル ギルガルはイスラエルの王サウルが神様より王に任命された場所であるとともに、アマレクを聖絶せよとの命令に従わず、価値のないものは自分のものにした場所。(一サム 11・15、15・12) (リビンングライフより)

二〇一七年新年聖会

元旦(日) 午前10時 元旦礼拝

二日(月) 新年過ぎ越し聖会 午前10時 聖餐式聖会 山本師 午後2時 足達師 午後6時 西田師

二月の計画

一日(木) 納骨堂掃除 午前10時

二日(金) 楽しい祈り会 午後1時

四日(日) 役員会 礼拝後

八日(木) 森田兄湊川公園伝道参加 午後2時

九日(金) 神戸市民クリスマス 午後7時 神戸文化ホール

一八日(日) クリスマス賛礼拝・コンサート 午前10時半〜午後三時

二三日(金) クリスマス大日丘集会 午後一時〜二時半

二五日(日) クリスマス礼拝 午前10時

十二月の召天会員

五日小仲一郎兄二〇周年 七日魚住桂二兄 四七周年

八日中島きよ子姉七五周年 九日松田 勇夫兄 五周年

十二日森あや多姉六四周年 十二日紺本清太郎兄 五四周年

十二日中瀬 清文兄七周年 十五日矢上栄一郎兄 三二周年

十八日砂川照代姉三四周年 十八日西川 省三兄 五一周年
十九日片山忠蔵兄七〇周年 二四日三永隆生兄 二五周年
二四日佐藤秀姉 一八周年 二五日松田 洋子姉 四九周年
三一日片山繁兄四五周年 三一日木村 喜一兄 四三周年
クリスマスQ&A

Q六八 イエス様の降誕は聖書のどこに書いてある

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫との間に、敵意をおく。彼は、おまえの頭を踏み砕き、お前は、彼のかかどにかみつく。」(創世記三ノ一五)

「エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。この方は主を恐れることを喜び、その目の見えるところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、正義をもって寄るべのない者をさばき、・・・」(イザヤ十一ノ一〜四)

「それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」(イザヤ七ノ一四)

「ひとりのみどりこが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、・・・」(イザヤ九ノ六、七)

「見よ。その日が来る。主の御告げ その日、わたしは、ダビデに一つの正しい若枝を起さす。彼は王となって治め、榮えて、この国に公義と正義を行なう。」(エレミヤ二三ノ五)

「ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのためにイスラエルの支配者が出る。その出る事は、昔から、永遠の昔からの定めである。」(ミカ五ノ二) (百万人の福音参考)